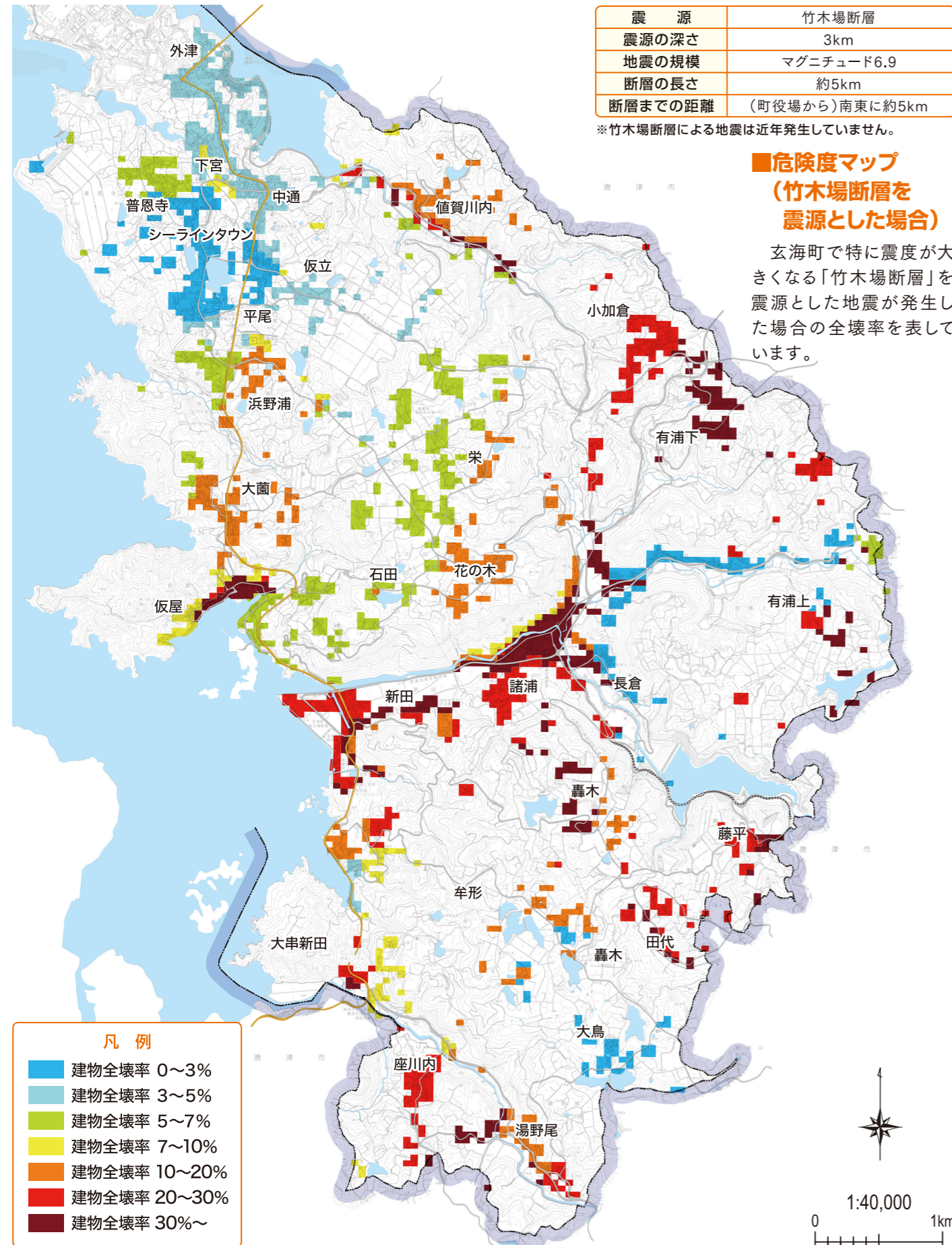


地震ハザードマップ(危険度マップ)

竹木場断層を震源とした場合の危険度マップ



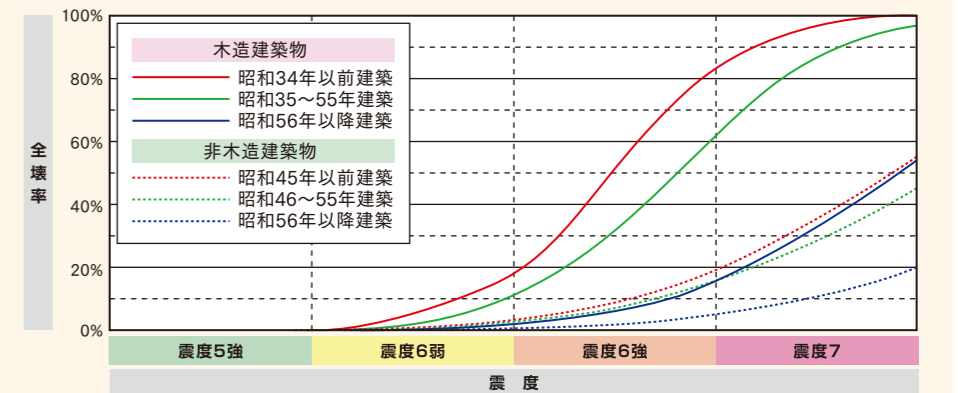
危険度マップとは

「揺れやすさマップ」に示されている揺れの強さになった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表したものです。危険度を建物が全壊する確率(建物全壊率)で表しており、危険度の数値が大きくなるほど被害は大きくなります。

危険度は建物が建っているところの揺れ(震度)が大きくなると高くなります。また、その建物がいつ建てられたのか(建築年次)、どのような構造をしているのか(木造建築物または非木造建築物)によって建物への危険度が変わってきます。

一般的には、建物が古いほど、また木造建築物であるほど危険度は高くなります。

震度と構造別・建築年次別建物の全壊率の関係(被害曲線)



玄海町直下を震源とした場合の危険度マップ

